

白老町活性化推進会議 第2回活性化推進部会（報告書）

開催日時	平成26年5月27日（火）16:30～17:30	
開催場所	役場第3会議室	
出席者	○ 石井和彦（産業経済課）	○ 広地紀彰（虎杖浜竹浦観光連）
	○ 本間 力（産業経済課）	○ 壬生龍之介（白老観光商協）
	○ 北平 保（白老町商工会）	○ 斎藤孝延（しらおい体験協会） 盛 悦子（同席）
	○ 千葉勝宏（白老観光協会）	欠 外崎晃男（ロータリークラブ）
	○ 蒲原亮平（白老青年会議所）	○ 鈴木みゆき（白老町婦連協）
	○ 山丸和幸（白老アイヌ協会）	○ 垣通吉則（いぶり中央漁協）
	欠 伊藤史康（とまこまい広域農協）	【オブザーバー】
	○ 西條林哉（代理出席）	○ 藤澤文一（産業経済課）
	欠 相吉慶二（白老振興公社）	

【協議の要旨】

事務局 第2回活性化推進部会を開催します。はじめに北平部会長からご挨拶をお願いします。

部会長 お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。5月26日の北海道新聞の記事にもありましたが、民族共生の象徴となる空間の基本方針が6月上旬にも閣議決定される見通しであり、私たち活性化部会としても早急に議論を進めたいと考えますので、よろしく願いいたします。

事務局 前回の部会でも説明しましたが、活性化推進部会としては別紙の7項目について取り組み内容を検討することとなっており、添付の検討シートに記載していく内容を皆さんから意見を出していく方法を取りたい。順番に発言をどうぞ。

A まず白老町で感じることは多種の産業があるにも関わらず点在しており、なかなか一元化できないことに問題を感じます。

B 国立博物館の開設については、アイヌ文化の中核施設として白老町全体で応援していただきたいと思えます。いまの博物館は情報の発信方法が弱みだと感じております。

C まず、この会議の進め方だと、意見が出しづらいので、付箋に自由に意見を書かせた方が良いのでは。白老町は特産品、食材に優れていますが、虎杖浜地区に温泉宿泊施設はありますが、白老地区にはないので、ポロト温泉の活用、宿泊施設の整備が急務と考えます。併せて土産品開発も必要と考えます。大宰府の場合は駅から九州国立博物館までの遊歩道が整備されており、街並み自体にも統一感を感じます。白老駅からの導線整備が必要だと思えます。

D 白老町は具体的に産業間連携、人的連携が弱いと感じます。福岡の明太子のような付加価値をつけた商品開発が課題。我々も「かに、たらこ、温泉三大まつり」を開催したり、白老牛、ほっき、シーフードカレーなど魅力のあるものはあるが、大宰府は500億円の経済効果があり、地元同士のつながりでお金が落ちる仕組みができています。

E 白老町は長い街並みのため、全体的なつながりが感じられない。それぞれの地域が個性が強く、つながっていくことに欠けている。そこが強化されれば良い町になる。

F 最近では学校でも地元企業を学ぶ学習や、歴史文化を学ぶ学習に取り組んでいることから、博物館を中心に大きく宣伝をできる企画を組めば良いと思う。

G 観光商協が店を出して半世紀になりますが、いままでの規制やしがらみから、国立博物館ができることにより、自由な発想ができるようになったことは強みである。弱みとしては、いままでイオル構想などに関わってきたポロト観光に造詣の深い方々が一枚岩になっていないことに問題がある。この国立博物館の開設の機会を見逃すわけにはいかない。脅威なのは国の政策として、何かの要因により辞めてしまったとか、縮小することが心配である。取組としては、3つのゾーン(博物館ゾーン、中央広場ゾーン、体験・交流ゾーン)で、それぞれ目標を立てることが大切である。

- H** まず構想の全体像が見えない。どういう施設を望んでいくか早く決めることが大事である。
- I** いまの構想のなかで、どういったことができるか。どの程度の営業活動ができるかが見えていない。以前、文化庁の方が来て説明会を行ったが、はっきりした回答は得られなかった。
- 駅北を町としてどう開発するか。門前町のようにイメージするか。最低限、異空間のイメージは作らなくてはいけない。
- 博物館と慰霊施設の話は進んでいるが、一番心配なのは伝承の部分が進んでいないことだと感じる。
- 事務局** 町の予算的な事情もありますが、2020 年に向けてどう取り組むかが見えてこない現状。駅北と街並みをどう連動させるか。商店街との連動だけではなく、社台から虎杖浜までをどう連携させるか。
- 次回についてはテーマを絞った意見をいただく方法を取っていきたい。
- 部会長** どう進めるか悩むところだが、ただ博物館が出来ただけでは、最初は入込は増えても、どんどん減っていくだけである。町としてもお金がなければ補助金を活用するか。高齢者人口も増えており、商売をするにしても働き手が確保できるか。
- この6年間で急いで対策を打たないと、いまの学生が地元で働ける環境にならないので、今からの仕込みが重要。
- 各分野で自分たちの仕事とリンクさせ、「食」「宿泊」など大きなセクションに分かれてアイデアを出し合えば議論は進むと思う。
- I** 一番興味がある、いまの中高生に話を聞く機会を作ってはどうか。どういう施設があったらいいか。若い人の意見も必要。
- B** いまアイヌ民族博物館には3つのタイプのお客様が来ており、「一般観光」「教育旅行」「海外客」とある。タイプ別に何をプラスすれば良いか考える必要がある。
- 事務局** Iさんからの中高生の意見を聴くことも良い案だと思います。海外からはインバウンドが伸びており、特にタイ等のアジア圏は伸びている。登別、洞爺との連携も加えながら伸ばしていく必要がある。
- いろいろ意見が出ましたが、「食」「宿泊」「体験」などでテーマを絞って次回検討したい。
- D** まだ心配なのは教育施設の位置づけかどうかということ。駅北についても6年後を目指して整備するのなら、今からスタートしなければ間に合わない。
- ある程度テーマは絞った議論をした方がいいが、ただ博物館を作るだけではなく、地元とのつながり、リピーターの獲得が重要。
- I** ただ、博物館を作っただけでは人は来ない。土日に大滝に行くと観光客が多いが食べ物を目当てに来ている。食は虎杖浜、竹浦と連携しなければポロト周辺だけではだめだし、地域連携が必要。
- 事務局** 「食」「宿泊」「体験」「駅北」「伝承」「雇用」など大きなポイント、課題が出されたので整理して次回の会議の案内をしたい。
- 次に役場内部の検討会議で9月以降に先進地視察を考えている。視察先として希望があれば要望したい。部会長も商工会の総代会で視察の要望もされている。
- D** 最初にもらった資料の視察候補地3カ所(九州国立博物館、福井恐竜博物館、金沢21世紀美術館)は、どれも評価が高いので参考にされたい。
- 部会長** 来る方のニーズ、見えているニーズ、隠れているニーズ。満足度を高めることで町の将来像が見えてくると思いますので、事務局については精査をお願いしたい。
- 事務局** わかりました。来月日程調整し部会のご案内をいたしますので、よろしくお願いいたします。

次回開催予定

未定 (部会長と後日調整)